



学校だより

平成29年11月30日

横浜市立洋光台第三小学校

12月号 校長 皆川 誠

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai3/>

人権週間にあたって

校長 皆川 誠

年の瀬を迎え、世間の動きも慌ただしい気がいたします。本校では、日々の授業や行事を着実にやり、まとめと振り返りを大切にして、平成30年につなげていきます。本年も、保護者の皆様や地域の皆様には、ご理解とご協力をいただき、学校を支えていただきましたことを深く感謝申し上げます。

わたしと小鳥と鈴と

金子みすゞ

わたしが両手を広げても、
お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのよう、
地面（じべた）をはやく走れない。

わたしがからだをゆすっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのよう、
たくさんうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

第3学年教科書（光村図書）より

さて、左の詩は、金子みすゞさんの「わたしと小鳥と鈴と」です。3年生の国語の教科書にも載っています。私の好きな詩の一つで、「みんなちがって、みんないい。」というフレーズが、特に気に入っています。小鳥にも、鈴にも、そしてわたしにも、それぞれによいところがあります。自分の周りを見ても、人それぞれに違いがあり、よさがあります。

学校や学年・学級など、集団の中で生きているのは、一人ひとり個性を持った子ども（人間）です。その違った一人ひとりが集まることにより、一人では気づきにくい豊かな発想や新しいものが生まれてくるのだと思います。ですから、それぞれの違いを理解し合い、互いに大切な存在であると認め合える教育を、これからも洋三小では目指していきたいと考えています。

12月4日から12月10日は、「人権週間」です。この「人権週間」に向けて、洋三小では、いくつかの取組をしております。

まずは、学校司書による人権に関する本の読み聞かせを11月に行いました。学校司書が磯子図書館などから、各学年の発達段階を考慮して本を選び、学年または学級ごとに読み聞かせをしています。子どもたちの真剣に聞いている姿が印象的でした。

また、今月は、「もう一度、いじめの問題に向き合い、自ら解決しようとする子ども社会をつくろう」というテーマで、各学年やクラス単位で話し合いを行います。

こうした活動を通して、「差別をしない、させない、許さない」という心情や態度を育成してまいります。そして、「みんな違って、みんないい。」、この言葉を心に刻み、洋三小に通うすべての子どもが安心して楽しく生活できる、いじめのない学校にしてまいります。

これからますます忙しくなってくると思いますが、心にゆとりをもち、明るい笑顔で、平成29年を締めくくりたいと思っております。今年一年間、本校の教育活動にたくさんのご支援とご協力をいただき、ありがとうございました。少し早いですが、よいお年をお迎えください。